

「瀬戸市立八幡小学校 出前授業」

水土里ネット愛知用水

令和5年11月15日（水）、瀬戸市立八幡小学校の4年生児童31名を対象に水土里ネット愛知用水の職員が講師として、出前授業を開催しました。

始めに愛知用水ができるまでの話について『知多半島の水不足がどれだけ深刻であったか』、『その水不足を解決するためにどのような動きがあったのか』という内容を紙芝居のように説明しました。次に愛知用水の概要について、愛知用水路の紹介や水土里ネット愛知用水の仕事を説明しました。聞いていた児童たちはスクリーンを見ながら頷いていたり、メモを取っていたりと真剣に話を聞いてくれました。

今回の出前授業についてのアンケートを行なったところ、内容について多くの児童が「よくわかった」と回答しており、「愛知用水ができるまではたくさんの方が苦労していたことが分かった。」、「愛知用水は王滝村を初め、たくさんの方が協力してできたということが分かった。」、「水の大切さがわかった。」などの感想をいただき、水の大切さや愛知用水ができてどのような影響を及ぼしたのかをよく理解してもらえたかと思えます。より多くの方に愛知用水について知ってもらうために21創造運動を率先して行いたいと考えております。



水野理事あいさつ



愛知用水についてのお話



愛知用水の歴史について



授業の様子